

令和4年度事業計画書  
2022年7月1日から2023年6月30日まで 7期目

法人の名称 特定非営利活動法人サードプレイス

## 1 事業活動方針

「こどもたちには、サードプレイスを 大人たちには、子どもたちと出会える場を」をテーマに、横浜市鶴見区に根差した活動に取り組んでいく。地域に暮らす子どもたちがより豊かで充実した日々を過ごし、困りごとを抱えひとりぼっちで置きざりされないことを目指し、家庭や学校以外のサードプレイス（第3の居場所）づくり、大人と子どもが出会う機会づくり、地域まちづくりの取り組みを実施していく。また、子どもたち自身が「生き抜くチカラ」を身に着けられるよう、子どもたちが主体となり体感・体験・学習に関する参加だけでなく参画できる事業をおこなう。

地域活動拠点や児童家庭支援センターという事業を生かし、こども家庭支援の充実や子どもの貧困、虐待防止、ヤングケアラーなどの社会課題にも取り組んでいく。鶴見区内の社会資源を活用し有機的なネットワークを構築することで、切れ目のない支援を目指す。

新型コロナウイルス感染症の拡大により不安が広がっている社会に向けて、希望が持てる、安心できる場所を提供する。

## 2 事業内容

### (1) 特定非営利活動に係る事業

#### ① 子どもの発達における総合支援事業

##### ア 子どもたちの居場所づくり事業

- ・内 容 子どもたちの居場所づくりの実施及び活動をおこなう団体の取り組み支援  
公共施設での子どもたちの居場所づくり：地区センカフェ  
公立中学校内での放課後学習支援  
高校生のためのオープンスペース：「つみれ自習室」（連携事業）
- ・日 時 通年
- ・場 所 横浜市鶴見区内
- ・従事者人員 5人・ボランティア 20名
- ・受益対象者 横浜市鶴見区内の子どもたち
- ・支出見込額 230,000円

##### イ こども家庭支援センターつるみらいの運営

- ・内 容 横浜型児童家庭支援センターの鶴見区運営法人として、事業を適切に運営し、地域生活を支える専門機関として、子どもたちや家庭が地域で孤立をしないよう関係機関と連携を取り合い、日々の生活に寄り添っていく。また、子育て短期支援事業の有用性を生かし、子ども自身の思いに焦点を当て、どんなに小さな声も取りこぼすことがないよう寄り添い、子どもの安心安全、成長につながる支援をしていく。地域資源を活用し、支援の手が必要などところに届くサポートを充実させるため、ソーシャルワークを実践していく。
- ・日 時 通年
- ・場 所 こども家庭支援センターつるみらい（横浜市鶴見区内鶴見中央）
- ・従事者人員 10人
- ・受益対象者 横浜市鶴見区内の子ども・保護者・里親等
- ・支出見込額 31,561,680円

- ・移転について 事業開始から2年が経過し、想定以上に利用者数が増加している。利用ニーズに応えられるようにするため、一時間帯での子どもの預かり人数を増やす、対応する職員を増員ができるように、今よりも広い場所に移転する必要がある。物件が見つかり次第、スケジュールを固めて移転作業に入る。  
 想定スケジュール 8月中：移転先の選定 理事会で承認  
 9月中：総会で報告・賃貸借契約  
 10月中：移転先の整備  
 年内中：移転  
 支出見込額は、移転費用を含んだ予算。

#### ウ 講演・啓発事業

- ・内 容 子どもの居場所、貧困対策、虐待防止、多文化共生、社会貢献教育の推進等に関する啓発、講演会、研修会等への開催および登壇
- ・日 時 通年
- ・場 所 横浜市鶴見区
- ・従事者人員 4人
- ・受益対象者 横浜市鶴見区内の大人たち
- ・支出見込額 200,000円

#### エ 子どもの体感・体験・学習イベント

- ・内 容 子どもの職業、自然、文化体験イベントの実施および協力のつるみ子育て・個育ちフォーラム運営委員会
- ・日 時 通年
- ・場 所 横浜市鶴見区ほか
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 横浜市鶴見区内の子どもたち
- ・支出見込額 50,000円

### ② 地域資源の調査・研究・開発事業

#### ア 鶴見の多文化・多世代の共創拠点 230cafe の運営

- ・内 容 地域活動拠点運営やランチ営業などを実施する。230cafe で取り組むことを「人材育成」と関連させ、地域の担い手を増やしていく。
- ・日 時 通年
- ・場 所 230cafe（横浜市鶴見区鶴見中央）
- ・従事者人員 10人
- ・受益対象者 主に横浜市鶴見区内にお住いの方
- ・支出見込額 8,392,000円

#### イ 事業の運営申請準備

- ・内 容 横浜市鶴見区内で募集される委託事業、認可事業、指定管理の運営申請の準備を進め、鶴見区の子育て、子ども支援に貢献し子どもの最善の利益を追求できるよう、制度の活用のため今年度は下記事業にエントリーする
  - ・鶴見区青少年元気支援事業
  - ・鶴見区地域子育て支援拠点事業

今年度中に下記事業について、行政と意見交換・事業誘致の検討の場を作る  
・青少年の地域活動拠点づくり事業

- ・日 時 通年
- ・場 所 横浜市鶴見区
- ・従事者人員 2人
- ・支出見込額 2,000,000円

ウ ひとり親支援事業

- ・内 容 横浜市鶴見区内に住むひとり親世帯で希望があった世帯に食料品を提供する。ニーズ把握やアセスメントを実施し、相談や子どもの居場所、交流、学習等の支援を提供する。
- ・日 時 食料品支援 月1回 学習支援 通年
- ・場 所 横浜市鶴見区
- ・従事者人員 2人
- ・受益対象者 横浜市鶴見区内の子どもたち、大人たち
- ・支出見込額 1,000,000円

エ 介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業サービスB通所型）

- ・内 容 地域のご高齢者の外出の機会、身体機能維持のための介護予防、孤立防止のための居場所づくりを目的に介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）を実施。  
横浜市通所型支援：体操・運動等の活動、趣味活動等を通じた日中の居場所づくり、定期的な交流、サロン、会食等
- ・実施時期 通年
- ・場 所 230cafe（横浜市鶴見区鶴見中央）
- ・従事者人員 3人、ボランティア6人
- ・受益対象者 横浜市鶴見区の要支援者等を中心とした高齢者
- ・支出見込額 1,800,000円